

糖尿病センター(糖尿病内科)



診療科長
(外来部門)
山田 和範

専門医資格等
京都大学医学博士
京都大学臨床教授
専門分野
糖尿病
得意疾患
糖尿病



診療科長
(入院部門)
河野 茂夫

専門医資格等
日本糖尿病学会 糖尿病専門医
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会 評議員
京都大学医学博士
京都大学臨床教授
専門分野
糖尿病
得意疾患
足病変

□ スタッフ

平成24年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	中川内 玲子	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医	糖尿病	足病変
医 師	村田 敬	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医 師	小鳥 真司	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 日本内科学会 認定内科医 日本肥満学会 肥満症専門医 日本抗加齢医学会 専門医 京都大学医学博士	糖尿病	糖尿病
医 師	岸 純一郎		糖尿病	糖尿病
専 修 医	伊藤 遼		糖尿病	糖尿病
専 修 医	水谷結香子		糖尿病	糖尿病
専 修 医	渡邊 知一		糖尿病	糖尿病
臨床研究センター長	島津 章	日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本病態栄養学会 認定NSTコーディネーター 京都大学医学博士 京都大学臨床教授	内分泌代謝疾患、検査医学、神経内分泌	内分泌代謝疾患、検査医学、神経内分泌
予防医学研究室長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病教育

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
臨床代謝 栄養研究 室 長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導 医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評 議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 評議員 日本病態栄養学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師	糖尿病、肥満(メ タボリックシンド ーム)疾患	糖尿病、肥満(メ タボリックシンド ーム)疾患
非常勤医師	重光 松崇		糖尿病	糖尿病
非常勤医師	吉良 友里	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
非常勤医師	小谷 和彦	日本内科学会 総合内科専門医 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医 日本動脈硬化学会 評議員 自治医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院
-------	-------------------------------

1. 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんご自身が自己管理能力を身につけることが大事です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
2. 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

□ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊婦糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

□ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。

下記に専門外来の診療活動について紹介する。

- ・フットケア外来 毎週月曜日14時~/フットセンター外来 毎週火曜日14時~ (2000年開設) フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診察をした上で、関係担当診療科へ紹介している。
- ・フットウェア外来(月2回:木曜日13時~16時 完全予約制) フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Orthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。
- ・1型糖尿病外来(2005年開設) 毎週 火曜日9時~16時・金曜日9時~12時/インスリンポンプ外来(2010年開設) 毎週 月曜日 14時~16時

1型糖尿病はインスリン分泌の廃絶を特徴とする。生命維持のみならず慢性の合併症予防のためにはインスリンを上手に用いて平均血糖レベルや血糖値のバラツキをコントロールすることが重要である。1型糖尿病外来で

は、重症低血糖を起こすことなく平均血糖レベルを改善する方法（カーボカウント、修正インスリンなどによるインスリン自己注射）につき、医師・看護師・管理栄養士のチームがわかりやすく指導している。インスリンポンプ療法（CSII）はこのためのきわめて有効な血糖管理法である。2013年3月末の1型糖尿病外来通院患者数は194名（うち新患33名）、インスリンポンプ療法を行っている患者は65名（2012年度新規導入14名）であった。

- ・肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設) 毎週 月曜日・水曜日9時～14時 肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登載した当院独自の「ダイエットノート」を活用して日本肥満学会が提唱する行動療法的アプローチに基づく減量指導を行っている。また動脈硬化や睡眠時無呼吸症候群等の合併症も定期的に評価している。また、外来患者を中心として2006年よりメタボリックシンドローム会(患者会)を定期的に開催。さらにメタボ通信、メタボランチなどをチーム医療で展開している。2009年には本活動をまとめた「チームで撲滅!メタボリックシンドローム」(診断と治療社)を刊行。外来開設からの延べ患者数12,800人以上、他院・他科からの紹介率も高く、新患100人以上(年間)に昇る。
- ・高脂血症外来(2005年開設) 毎週木曜日10時～13時/高脂血症療養指導外来(2006年開設) 毎週木曜日10時～13時。家族性コレステロール血症(FH)、家族性複合型高脂血症(FCHL)などの脂質異常症受診者を対象。頸動脈や特殊検査による動脈硬化リスク評価を行い、管理目標値を設定。管理栄養士による療養指導を併設し、飲酒問題を抱える高中性脂肪血症に対する節酒指導(HAPPYプログラム)を実施。スタチン副作用例への対応なども行っている。症例数505例(2005年11月～2013年3月)内訳;家族性高コレステロール血症(79例)、II a型(159例)、II b型(131例)、IV型(81例)、III・V型(3例)、その他(52例)。
- ・妊娠糖尿病外来(2007年3月開設) 毎週金曜日13時～15時 妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の(糖尿病には至っていないレベルの)耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。平成24年度当外来を受診した新規患者数は57名(妊娠糖尿病:14名、2型糖尿病合併妊娠:5名)であった。
- ・糖尿病血管合併症外来 毎週金曜日13時～16時 糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
- ・糖尿病透析予防指導外来(2012年4月の診療報酬改訂に基づき新設)糖尿病性腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。当センターでは2012年10月に開設され、2013年3月末までの受診者数は66名であった。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっている。さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導(管理栄養士)および糖尿病療養指導外来(インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など:看護師)を開設している。また、自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士(CDEJ)は、当院内で21名(看護部:12名、薬剤科:7名、栄養科:1名、検査科:1名)を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。

□ 診療実績(平成24年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
18.4名	412名	16.6日

外来患者数

1日平均患者数
102.7名

主な手術・検査の件数など

CGM(連続皮下ブドウ糖測定)	CAVI/ABI測定	CT(内臓脂肪面積測定)
41件	240件	76件

リポプリント解析
225件

□ 地域医療連携・広報活動

- ・糖尿病センターだより(糖尿病センター広報紙)：2008年4月に糖尿病センター創立40周年を記念して発刊された患者向け広報紙。2012年3月現在、季刊発行となっていて通巻23号を数えている。糖尿病センターおよび関連診療科、伏見医師会の医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師等が分担して執筆。 毎号4000部を通院患者と糖尿病センター関連医療施設に配送付している。全号を京都医療センターHP上で閲覧できる。
- ・糖友会(患者会)：日本糖尿病協会傘下の糖尿病患者会として昭和36年に発足した。初代会長は大村春男氏(後に日本糖尿病協会会長)、現会長は藤井弘氏である。2012年度総会は2012年11月10日に開催(参加者24名、ウェスティン都ホテル)。2013年3月23日例会(血糖値を測ってみよう、参加者17名)。
- ・糖尿病市民公開講座「第27回DM京都」 糖尿病と脂肪肝 2012年5月27日 参加者120名
特別講演「糖で痛んだ肝臓のお手入れ法」 講師：高知大学医学部消化器内科 西原 利治 教授
講演「HbA1cの値が変わったのを知ってますか？」 京都医療センター検査科 小原 伸之
講演「脂肪肝と食事」 京都医療センター栄養科 後 沙苗
運動指導「はじめよう!今日からあなたもA(歩く)・K(筋トレ)・B(バランス)!」 洛和会音羽病院 リハビリテーションセンター 福田 公雄・荒尾 早紀・起塚 美典・田路 真由
- ・第13回メタボリックシンドローム会 2012年12月8日 参加者150名
特別講演「今日からどこでも実践できる運動療法」講師：同志社大学 スポーツ健康科学部 石井 好二郎 教授
モーニングレクチャー「専門医が解説!カロリー制限食と糖質制限食の違いについて～安全に糖質制限をするためのコツ～」 姫野病院 糖尿病腎臓内科 姫野 亜紀裕医師
かんたん体力測定「自分のからだを知ろう!～かんたん体力テストにみんなでチャレンジ～」 健康運動指導士 小峰圭子・2-8看護師
栄養指導「メタボランチで意識改革!～患者アンケートより～」 管理栄養士 片山 蘭
- ・1型交流会(1型糖尿病外来患者会、2006年4月発足)
第19回例会 2012年 6月3日 夏の勉強会 特別講演「iPS細胞が拓く新しい医療」 参加者22名
第20回例会 2012年11月18日 茶話会 参加者17名
- ・1型ニュース(2006年2月～)2013年3月第44号を発行(京都医療センターHP上にPDFファイルにて紹介)。
- ・第9回京都医療センター1型糖尿病セミナー「1型糖尿病合併妊娠」2012年10月27日
- ・平成24年度JICA研修「生活習慣病予防対策研修コース：糖尿病対策について」 2012年6月6日
- ・臨床研究実践セミナー「上手なアンケートの作り方とエクセルでできる統計1」 2012年7月31日
- ・臨床研究実践セミナー「エクセルでできる統計2と統計ソフトの活用」 2012年8月6日
- ・京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室夏季セミナー2012 2012年8月27日
- ・平成24年度内分泌・代謝性疾患研修会「行動科学と最新のエビデンスに基づいた糖尿病教育の実践」 2012年10月2日-4日
- ・米国国立衛生研究所日本人研究会、「脂質異常症の研究について」 2012年12月7日
- ・京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室学術研究発表会2012～糖尿病予防と糖尿病教育～ 2012年12月15日

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区 分	演 者・演 題・学 会 名
国際学会	Isojima T, Shimatsu A, Yokoya S, Chihara K, Tanaka T, Hizuka N, Teramoto A, Tatsumi K, Tachibana K, Katsumata N, Fujieda K. Establishment of the standardized centile curves and reference intervals of serum insulin-like growth factor-I (IGF-I) levels in Japanese population using LMS method. The 51st Annual Meeting of the European Society for Paediatric Endocrinology (ESPE). September 20-23, 2012; Leipzig, Germany.
国内学会	磯島豪、島津章、横谷進、田中敏章、立花克彦、勝又規行、堀川玲子. 小児期から成人期を通して使用可能なInsulin-like growth factor-I (IGF-I)の基準値の設定. 第46回日本小児内分泌学会学術集会. 2012年9月27-29日;大阪市
国内学会	島津章、磯島豪、横谷進、千原和夫、田中敏章、肥塚直美、寺本明、巽圭太、立花克彦、勝又規行、堀川玲子. 全年齢における血中インスリン様成長因子-1(IGF-1)濃度の基準範囲. 第59回日本臨床検査医学会学術集会. 2012年11月28-30日;京都市
国内学会	島津章. ランチョンセミナー1 日本人のIGF-I基準値とその活用. 第22回臨床内分泌代謝Update. 2013年1月18-19日;大宮市
国内学会	垣田真以子、難波多挙、村田敬、安井久見、植田洋平、中谷理恵子、中尾佳奈子、立木美香、臼井健、田上哲也、成瀬光栄、島津章. 多発肝転移を伴う肺原発神経内分泌腫瘍による異所性ACTH産生腫瘍に対するエベロリムスの治療効果. 第24回日本間脳下垂体副腎系研究会. 2013年3月23日;東京
国内学会	塚原徹也、浅原哲子、大谷良、中久木卓也. 急性期脳梗塞患者における薬物治療法の効果. 第37回日本脳卒中学会総会. 2012年4月26日-28日;福岡
国内学会	中久木卓也、浅原哲子、村中和哉、佐々木洋介、山陰一、塚原徹也、大谷良、園部眞、江面正幸、高橋立夫、吉岡亮、矢坂正弘、堤圭介. 脳梗塞と血中アディポサイトカイン、炎症マーカーとの関連について. 第37回日本脳卒中学会総会. 2012年4月26日-28日;福岡
国内学会	浅原哲子、村中和哉、佐々木洋介、山陰一、塚原徹也. 頸動脈プラーク内のマクロファージ浸潤と炎症性サイトカインの発現に対する糖尿病の影響. 第37回日本脳卒中学会総会. 2012年4月26日-28日;福岡
国内学会	大谷良、浅原哲子、中久木卓也、山陰一、端祐一郎、村瀬永子、中村道三、塚原徹也. 脳梗塞危険因子と頸部超音波所見、アディポサイトカインとの関連. 第37回日本脳卒中学会総会. 2012年4月26日-28日;福岡
国内学会	小島真司、富田努、孫徹、藤倉純二、岩倉浩、日下部徹、海老原健、細田公則、中尾一和. 新規のG蛋白共役型-脂質受容体GPR119の臨床的意義. 第109回日本内科学会講演会. 2012年4月13日-15日;京都
国内学会	富田努、細田公則、小島真司、孫徹、藤倉純二、岩倉浩、野口倫生、日下部徹、海老原健、中尾一和. 新規のインスリン分泌調節因子GPR40の遺伝性肥満モデルでの発現調節と機能的意義. 第109回日本内科学会講演会. 2012年4月13-15日;京都
国内学会	吉良友里、細田公則、富田努、小島真司、孫徹、藤倉純二、岩倉浩、日下部徹、海老原健、中尾一和. G蛋白共役型-脂質受容体GPR40の遺伝子発現と臨床的意義. 第109回日本内科学会講演会. 2012年4月13-15日;京都
国内学会	富田努、細田公則、小島真司、孫徹、藤倉純二、岩倉浩、野口倫生、日下部徹、海老原健、中尾一和. 新規のインスリン分泌促進因子GPR40の遺伝性肥満モデルでの発現調節と機能的意義. 第85回日本内分泌学会学術総会. 2012年4月19-21日;名古屋
国内学会	富田努、細田公則、小島真司、孫徹、藤倉純二、岩倉浩、野口倫生、日下部徹、海老原健、中尾一和. G蛋白共役型-脂質受容体GPR119の臨床的意義 ヒト臍島およびインスリノーマにおける遺伝子発現と臍島機能との連関. 第85回日本内分泌学会学術総会. 2012年4月19-21日;名古屋
国内学会	小島真司、中川内玲子、島田典生、能登裕、梅本琢也、山家由子、田中剛史、林野泰明、島津章、服部正和、泉有紀、渡邊知一、宮本恵宏、平尾利恵子、肥田和之、吉田和矢、小河淳、川邊庸次郎、木村博典、東輝一朗、河野茂夫. 糖尿病足病変ハイリスク患者への外来での予防的フットケアの有効性に関する多施設共同研究(中間報告). 第55回日本糖尿病学会年次学術集会. 2012年5月17-19日. 横浜
国内学会	富田努、細田公則、小島真司、藤倉純二、日下部徹、海老原健、中尾一和. 新規のG蛋白共役型-脂質受容体群GPR40、GP119の臨床的意義. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会. 2012年5月17-19日. 横浜
国内学会	小島真司、細田公則、富田努、藤倉純二、日下部徹、海老原健、中尾一和. G蛋白共役型-脂質受容体GPR119のヒトにおける遺伝子発現と生理的意義. 第33回日本肥満学会. 2012年10月11-12日;京都
国内学会	富田努、細田公則、小島真司、藤倉純二、日下部徹、海老原健、中尾一和. 蛋白共役型-中・長鎖脂肪酸受容体GPR40の遺伝性肥満モデルの発現調節. 第33回日本肥満学会. 2012年10月11-12日;京都
国際学会	T. Tomita, K. Hosoda, S. Odori, J. Fujikura, T. Kusakabe, K. Ebihara, K. Nakao. Clinical Implications of G Protein-Coupled Lipid Receptors, GPR40 and GPR119. 9th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress, 4th Scientific Meeting of the Asian Association for the Study of Diabetes. 2012年11月24-27日;京都
国内学会	村田敬. 近未来のインスリンポンプ療法、これでいいのか?インスリン治療. 京都インスリンセミナー. 2012年4月21日;京都
国内学会	村田敬、岡田浩、坂根直樹、山田和範. カーボカウント指導のためのロールプレイプログラムの開発. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会. 2012年5月17-19日;横浜
国内学会	岸純一郎、岡嶋昭、村田敬、坂根直樹、山田和範. 1型糖尿病の血糖変動に及ぼす因子の検討. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会. 2012年5月17-19日;横浜
国内学会	和田啓道、尾野亘、佐藤哲子、川村晃久、森本達也、上北和実、東堂龍平、山田和範、赤尾昌治、小坂田元太、島津章、長谷川浩二. プラバスタチンもしくはアトルバスタチンとロサルタンとの併用が初期心血管病変に及ぼす影響. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会. 2012年5月17-19日;横浜
国内学会	津崎こころ、小谷和彦、山田和範、坂根直樹. 脂質異常症者の心血管病発症に及ぼす要因:糖尿病の影響. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会. 2012年5月17-19日;横浜
国内学会	吉岡二三、坂根直樹、山田和範、村田敬、岸純一郎、小谷和彦、津崎こころ、納心、真鍋悟、佐野喜子、松岡幸代、岡田浩. 1型糖尿病骨折予防の研究. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会. 2012年5月17-19日;横浜
国内学会	岸純一郎. 京都医療センターにおけるピクトーザの使用経験. 糖尿病を考える会-糖尿病患者の血糖管理の現状と課題-. 2012年7月31日;京都
国内学会	岡嶋昭、真鍋悟、藤本容子、岸純一郎、村田敬、山田和範. SMBG解析ソフトを利用した1型糖尿病血糖自己管理評価. 第49回日本糖尿病学会近畿地方会. 2012年11月17日;京都
国内学会	藤本容子、真鍋悟、岡嶋昭、岸純一郎、村田敬、山田和範. SMBG解析ソフトをもちいた1型糖尿病患者の血糖変動評価、症例提示. 第49回日本糖尿病学会近畿地方会. 2012年11月17日;京都
国内学会	水谷結香子、中川内玲子、伊藤遼、渡邊知一、岸純一郎、村田敬、山田和範、浅原哲子、島津章、小島真司、河野茂夫. 著名な足変形による高足底圧のために慢性難治性潰瘍を生じた2症例. 第49回日本糖尿病学会近畿地方会. 2012年11月17日;京都
国内学会	松岡幸代、山田和範. 2型糖尿病外来患者の食事自己管理状況. 第49回日本糖尿病学会近畿地方会. 2012年11月17日;京都

国内学会	村田敬、岡崎研太郎、岡田浩、真鍋悟、片山欄、三浦あゆみ、内川徹志、後沙苗、藤本容子、坂根直樹、山田和範。1型糖尿病診療に関わる医療従事者を対象としたエンパワーメント研修会の効果。第49回日本糖尿病学会近畿地方会。2012年11月17日;京都
国内学会	中川内玲子。西太平洋地域の糖尿病シャルコー足病変の特徴に関する国際共同研究-ASIPAC Foot。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;神奈川
国内学会	伊藤遼。西太平洋地域における糖尿病足病変ハイリスク患者におけるライフスタイルに関する国際共同研究-ASIPAC3-。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;神奈川
国内学会	浅原哲子、佐々木洋介、椋谷真由、村中和哉、山陰一、河野茂夫、和田啓道、長谷川浩二、島津章。メタボリック症候群におけるEPAの抗動脈硬化作用の分子機構-単球・マクロファージPPAR γ を介するIL-10の上昇作用-。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日 神奈川
国内学会	中川内玲子、Yunir Em、Gang Zhao Zhi、梶尾裕、野田光彦、清野裕、Binh Ta Van、Jesus Enrico A. de、Krittayawong Sirinate、河野茂夫。西太平洋地域の糖尿病シャルコー足病変の特徴に関する国際共同研究-ASIPAC Foot Study 2-。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日 神奈川
国内学会	伊藤遼、Khun Touch、Yunir Em、Zhao Gang Zhi、中川内玲子、梶尾裕、野田光彦、清野裕、泉有紀、Ta Bin Van、Jesus Enrico A. de、Krittayawong Sirinate、河野茂夫。西太平洋地域における糖尿病足病変ハイリスク患者におけるライフスタイルに関する国際共同研究-ASIPAC 3-。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;神奈川
国内学会	椋谷真由、浅原哲子、小谷和彦、姫野亜紀裕、村中和哉、佐々木洋介、山陰一、岡崎泰一郎、田邊真紀人、加藤泰久、荒木里香、大石まり子、河野茂夫、島津章。日本人肥満症の減量成功とリバウンドに影響する因子の検討-国立病院機構肥満症多施設共同研究(JOMS)。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;神奈川
国際学会	河野茂夫。Diabetic foot care in Western Pacific Region。Forum on Diabetic Foot and Related Diseases 2012 2012年10月12-13日、Guangzhou, China
国際学会	河野茂夫:Diabetic Foot Care Project in WPR。第9回国際糖尿病連合太平洋地区(IDF-WPR)会議 第4回アジア糖尿病学会(AASD)学術集会。2012年11月24-27日;京都
国内学会	村田敬、青木雄次、加藤泰久、田中剛史、荒木里香、加藤研、肥田和之、河村智一、吉田和矢、今村洋一、豊永哲至。NHO 1型糖尿病研究グループ:国立病院機構におけるCSIIの使用状況と患者特性。2012/12/1 岡山
国際学会	T. Murata, Y. Aoki, Y. Kato, T. Tanaka, R. Araki, K. Kato, K. Hida, T. Kawamura, K. Yoshida, Y. Imamura, T. Toyonaga, K. Yamada, N. Sakane, NHO T1DM Research Group. THE INSULIN PUMP USAGE AND THE PATIENT CHARACTERISTICS IN THE T1DM COHORT AT NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION HOSPITALS IN JAPAN. The 6th International Conference on Advanced Technologies & Treatments for Diabetes. 2013年2月27日-3月2日 Paris, France
国内学会	片山欄、村中和哉、佐々木洋介、山陰一、真鍋悟、山地聡子、内川徹志、三浦あゆみ、後沙苗、安藤由美、谷川清、浅原哲子。当院における外来患者向け体験型食事教育「メタボランチ」を通して。第66回国立病院総合医学会。2012年11月16-17日;兵庫
国内学会	浅原哲子、小谷和彦、和田啓道、宮永史子、大谷すみれ、米澤一也、小河淳、西藤亮子、岡嶋泰一郎、田邊真紀人、荒木里香、吉田和朗、齋藤美穂、長岡匡、豊永哲至、田中剛史、山田努、太田逸朗、大石まり子、島津章。肥満症・糖尿病のCVD・CKD予防の為に脂質管理指標の検討-国立病院機構多施設共同研究-。第33回日本肥満学会。2012年10月11-12日;京都
国内学会	浅原哲子、佐々木洋介、村中和哉、山陰一、小鳥真司、河野茂夫、和田啓道、長谷川浩二、島津章。インクレチン関連薬による単球・マクロファージのM1/M2タイプとその機能への影響。第33回日本肥満学会。2012年10月11-12日;京都
国内学会	山陰一、佐々木洋介、村中和哉、塚原徹也、浅原哲子。頸動脈プラークのM1/M2マクロファージ浸潤と炎症性サイトカインに対する肥満・糖尿病の影響。第33回日本肥満学会。2012年10月11-12日;京都
国内学会	椋谷真由、浅原哲子、姫野亜紀裕、村中和哉、佐々木洋介、山陰一、岸本一郎、島津章。日本人肥満症における減量成功率とその後のリバウンドに関連する因子の特徴。第33回日本肥満学会。2012年10月11-12日;京都
国内学会	伊藤遼、小鳥真司、山陰一、村中和哉、佐々木洋介、河野茂夫、島津章、浅原哲子。肥満症・メタボリック症候群におけるDUALインピーダンス法を用いた内臓脂肪面積測定の臨床的意義。第33回日本肥満学会。2012年10月11-12日;京都
国内学会	佐々木洋介、浅原哲子、村中和哉、山陰一、後藤伸子、勝浦五郎、中尾一和、島津章。高脂肪食誘発肥満モデルマウスにおけるGLP-1受容体のエネルギー代謝調節作用。第33回日本肥満学会。2012年10月11-12日;京都
国内学会	Satoh-Asahara N, Sasaki Y, Muranaka K, Yamakage H, Wada H, Hasegawa K, Shimatsu S. Anti-inflammatory Effects of Eicosapentaenoic Acid in Metabolic Syndrome-Increase in Interleukin 10 Levels of Peripheral Blood Monocytes through a PPAR γ dependent pathway. The 44th Annual Scientific Meeting of the Japan Atherosclerosis Society. 2012年7月19-20日;Japan, Fukuoka
国内学会	Yamakage H, Satoh-Asahara N, Kotani K, Kato Y, Araki R, Okajima T, Tanabe M, Ohishi M, Shimatsu A. Evaluation of oxidized LDL and CAVI in Japanese obese patients for prevention of atherosclerosis in multi-centered National Hospital Organization Japan Obesity and Metabolic Syndrome Study. The 44th Annual Scientific Meeting of the Japan Atherosclerosis Society. 2012年7月19-20日;Japan, Fukuoka
国内学会	Wada H, Ura S, Kitaoka S, Satoh-Asahara N, Horie T, Ono K, Akao M, Abe M, Morimoto T, Murayama T, Yokode M, Shimatsu A, Hasegawa K. Serum vascular endothelial growth factor-C levels are associated with dyslipidemia and atherosclerosis. The 44th Annual Scientific Meeting of the Japan Atherosclerosis Society. 2012年7月19-20日;Japan, Fukuoka
国内学会	Wada H, Masunaga N, Akao M, Ura S, Ishii M, Unoki T, Abe M, Ogawa H, Satoh-Asahara N, Takahashi Y, Shimatsu A, Hasegawa K. α 1-Antitrypsin-low-density-lipoprotein, a smoking-related oxidatively modified LDL, is increased in sera from patients with severe arteriosclerosis obliterans. The 44th Annual Scientific Meeting of the Japan Atherosclerosis Society. 2012年7月19-20日 Japan, Fukuoka
国内学会	浅原哲子。フォーミュラ食の理論とその実践。第30回日本肥満症治療学会学術集会ワークショップ5。2012年6月29-30日;東京
国内学会	浅原哲子。フォーミュラ食品による生活習慣病の是正 第30回日本肥満症治療学会学術集会ランチョンセミナー2 2012年6月29-30日;東京
国内学会	宮永史子、浅原哲子、森崎裕子、山中到、小久保弘弘、宮本恵宏、島津章、森崎隆幸。チロシンホスファターゼ1B遺伝子多型は日本人の肥満発症及び減量治療抵抗性に関連する。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;東京
国内学会	益永信豊、和田啓道、浦修一、赤尾昌治、石井充、鶴木崇、阿部充、小河尚、竹中淑夏、中島康代、金崎幹彦、佐藤哲子、島津章、長谷川浩二。喫煙に密接に関連した α 1-anti-trypsin-LDLの血中レベルは閉塞性動脈硬化症で上昇する。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;東京
国内学会	浦修一、和田啓道、北岡修二、佐藤哲子、堀江貴裕、尾野巨、高谷智英、森利依子、赤尾昌治、阿部充、森本達也、村山敏典、横出正之、藤田正俊、島津章、長谷川浩二。血管内皮増殖因子Cは脂質異常及び動脈硬化と関連している。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;東京
国内学会	浅原哲子、村中和哉、佐々木洋介、山陰一、塚原徹也。頸動脈プラーク内のマクロファージ浸潤と炎症性サイトカイン発現に対する糖尿病の影響。第37回日本脳卒中学会総会。2012年4月26-28日;福岡

国内学会	浅原哲子、佐々木洋介、椋谷真由、村中和哉、山陰一、河野茂夫、島津章。メタボリック症候群における高脂血症薬・EPAの抗動脈硬化作用の分子機構-PPAR γ を介するIL-10の上昇作用-。第85回日本内分泌学会学術総会。2012年4月19-21日;愛知
国内学会	椋谷真由、浅原哲子、小谷和彦、姫野亜紀裕、村中和哉、佐々木洋介、山陰一、河野茂夫、岡嶋泰一郎、田邊真紀人、加藤泰久、荒木里香、大石まり子、島津章。日本人肥満症の減量成功率とリバウンド率に影響を与える因子とアウトカム-国立病院機構肥満症多施設共同研究(JOMS)-。第85回日本内分泌学会学術総会。2012年4月19-21日;愛知
国際学会	Sakane N, Yanagisawa Y, Katashima M, Dohi S, Sakanta K, Hagiwara S. Japanese study of visceral adiposity and lifestyle information: utilization and evaluation. 19th European Congress on Obesity. 2012年5月9-12日;Lyon, France
国際学会	Okada H, Nakagawa Y, Onda M, Fukuoka K, Sakane N. COMPASS Project: a cluster randomized Intervention Trial by community pharmacists' for lifestyle support for type 2 diabetes patients in Japan. 17th international social pharmacy workshop. 2012年7月23-26日;Phuket,Thailand
国際学会	Okada H, Nakagawa Y, Onda M, Shoji M, Sakane N. Assessing pharmacists' YARIGAI or job satisfaction change within COMPASS project: a cluster randomized intervention trial by community pharmacists for type 2 diabetes patients in Japan. 24th Federation of Asian Pharmaceutical Association congress. 2012年9月13-16日;Bali, Indonesia
国際学会	Okada H, Nakagawa Y, Onda M, Shoji M, Sakane N. Community pharmacists for diabetes patients intervention study in Japan (COMPASS-Project1). International Pharmaceutical Federation. 2012年10月3-8日;Amsterdam,Netherlands
国際学会	Okada H, Sakane N. A Comparison of practices at community pharmacies in Japan and Australia. PAC12 2012年10月19-21日;Melbourne, Australia
国内学会	岡田浩、中川康司、福岡勝志、恩田光子、坂根直樹。保険薬局における糖尿病患者への動機づけ面接の効果:COMPASSプロジェクト結果報告。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;横浜
国内学会	岡田浩、大澤理代、佐藤和生、河本一真、野村真洋、小山智美、安尾めぐみ、庄司雅紀、厚田幸一郎、朝倉俊成。糖尿病エンパワメントを主題にしたシンポジウムの試み〜「糖尿病劇場」実施結果報告。第1回くすりとう糖尿病学会学術集会。2012年9月22-23日;東京
国内学会	津崎こころ、松岡幸代、小谷和彦、山田和範、坂根直樹。脂質異常症者の心血管発症に及ぼす要因:糖尿病の影響。第55回日本糖尿病学会年次学術集会。2012年5月17-19日;横浜
国内学会	佐野喜子、坂根直樹。毎食の炭水化物摂取量に注目した食事診断システムの開発と妥当性・再現性についての検討(タブレット端末を活用した食事診断システム:カウントJOY)。日本糖尿病学会。2012年5月17-19日;横浜
国内学会	佐野喜子、高波嘉一、河津捷二。パネルディスカッション「職場の糖尿病対策」。関東産業健康管理研究会。2012年11月1日;東京
国内学会	岡幸代。患者心理を踏まえた糖尿病療養指導あ〜誰にでもできる栄養指導。コメディカルのための糖尿病看護セミナー。2012年4月22日;福島
国内学会	河野茂夫。糖尿病フットケアの実際とトピックス。第17回北海道CDEスキルアップセミナー。2012年4月7日;北海道札幌市
国内学会	河野茂夫。糖尿病フットケアの実際とトピックス。第8回北摂四医師会ほくせつフットケアカンファレンス。2012年4月21日;大阪府高槻市
国内学会	河野茂夫。糖尿病フットケアの実際。中央区フットケアを考える会。2012年6月21日;大阪府大阪市
国内学会	河野茂夫。糖尿病重症化予防(フットケア)推進。JADECサイエンスフォーラム UNITE Study。2012年9月1日;東京都千代田区
国際学会	河野茂夫。Diabetic foot care in Western Pacific Region. シンガポール国立大学症症カンファレンス。2012年10月9日;シンガポール
国際学会	河野茂夫。Diabetic foot care in Western Pacific Region. ベトナム内分泌代謝研究カンファレンス。2012年10月10日;ベトナム
国内学会	河野茂夫。フットケアの実際と展望。第29回京都インスリン治療研究会。2012年10月27日;京都市
国際学会	河野茂夫。Diabetic Foot in Western Pacific Region. the Lautoka Diabetes Hub。2012年11月5日;Lautoka, Fiji
国際学会	河野茂夫。Diabetic Foot in Western Pacific Region. MOH フィジー厚労省主催。2012年11月7日;Suva, Fiji
国内学会	河野茂夫。糖尿病足病変治療の最前線。糖尿病チーム医療フォーラム。2012年11月10日;和歌山県和歌山市
国内学会	河野茂夫。内科診療から診るASO。第7回ASOフォーラム。2012年12月1日;愛知県名古屋市
国内学会	河野茂夫。糖尿病足病変治療の実際とトピックス。大阪南学術セミナー。2013年1月25日;大阪府河内長野市
国内学会	河野茂夫。糖尿病フットケアのトピックスと実際。第27回福岡県臨床糖尿病医会。2013年3月2日;福岡県福岡市
国内学会	浅原哲子。Jes We Can 肥満症における減量治療と心腎合併症予防-国立病院機構多施設共同研究を主導して-。第13回日本内分泌学会近畿支部学術集会。2012年10月20日。大阪
国内学会	浅原哲子。メタボリックシンドロームにおけるSAA/LDL上昇と動脈硬化進展に及ぼす喫煙の影響-減量および薬物療法と禁煙の併用治療による心血管病リスクへの効果-。第27回平成23年度喫煙科学研究財団助成研究発表会。2012年7月18日。東京
国内学会	浅原哲子。メタボリック症候群における心血管病リスク指標としてのCAVの有用性と生活指導。第3回京都呼吸・循環セミナー。2012年6月23日。京都
国内学会	浅原哲子。メタボリック症候群におけるEPAの多面的効果。京都南部病院DMカンファレンス。2012年6月21日。京都
国内学会	浅原哲子。メタボリック症候群におけるEPAの多面的効果。EPA/AAを考える会〜動脈硬化のリスクマーカーとしての展望〜。2012年6月16日。京都
国内学会	Unoki T, Wada H, Akao M, Ura S, Masunaga N, Ishii M, Abe M, Ogawa H, Iguchi M, Takabayashi K, Yamashita Y, Hamatani Y, Nakashima Y, Osakada G, Satoh-Asahara N, Shimatsu A, Hasegawa K. Vascular Endothelial Growth Factor-C Levels are Inversely Associated with the Risk of Restenosis After Drug-eluting Stent Implantation (FRS-103)。第77回日本循環器学会学術集会。2013年3月15-17日。横浜
国内学会	Ishii M, Wada H, Akao M, Ura S, Unoki T, Masunaga N, Abe M, Ogawa H, Iguchi M, Takabayashi K, Yamashita Y, Hamatani Y, Nakashima Y, Osakada G, Satoh-Asahara N, Shimatsu A, Hasegawa K. The Serum-amyloid-A/LDL Complex Level is Associated with Positive Remodeling and Plaque Growth in Coronary Artery Disease (OE-015)。第77回日本循環器学会学術集会。2013年3月15-17日。横浜
国内学会	Ura S, Wada H, Satoh-Asahara N, Akao M, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K. Serum Lipoprotein-associated Phospholipase A2 Mass Levels Significantly Decrease Following Smoking Cessation (OE-171)。第77回日本循環器学会学術集会。2013年3月15-17日。横浜
国内学会	Masunaga N, Wada H, Akao M, Ura S, Unoki T, Ishii M, Abe M, Ogawa H, Iguchi M, Takabayashi K, Yamashita Y, Hamatani Y, Nakashima Y, Osakada G, Satoh-Asahara N, Shimatsu A, Hasegawa K. Serum Levels of Vascular Endothelial Growth Factor-C are Inversely Associated with Severe Arteriosclerotic Obliterations in Male Patients (PE-039)。第77回日本循環器学会学術集会。2013年3月15-17日。横浜

国内学会	Iguchi M, Wada H, Akao M, Ura S, Masunaga N, Ishii M, Unoki T, Abe M, Ogawa H, Takabayashi K, Yamashita Y, Hamatani Y, Nakashima Y, Osakada G, Satoh-Asahara N, Shimatsu A, Hasegawa K. High Leptin Levels are Associated with Future Cardiovascular Events in Chronic Heart Failure Patients (PE-072). 第77回日本循環器学会学術集会. 2013年3月15-17日. 横浜
国内学会	Wada H, Ura S, Satoh-Asahara N, Akao M, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K. Increase in Serum Soluble VEGF Receptor-2 during Smoking Cessation is Associated with the Risk of Diabetes (PE-328). 第77回日本循環器学会学術集会. 2013年3月15-17日. 横浜
国内学会	Wada H, Ura S, Satoh-Asahara N, Akao M, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K. Self-rating Depression Scale Score is Independently Associated with Smoking Cessation Failure (PJ-481). 第77回日本循環器学会学術集会. 2013年3月15-17日. 横浜
国内学会	Hasegawa K, Wada H, Satoh-Asahara N, Komiyama M, Takahashi Y. Nicotine Dependency, Obesity and Cardiovascular Risk Biomarkers (SY22-1). 第77回日本循環器学会学術集会. 2013年3月15-17日. 横浜
国内学会	Shimada S, Wada H, Ura S, Terashima S, Satoh-Asahara N, Yamakage H, Komiyama M, Akao M, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K. Relationship between Poor Blood Fluidity and Atherosclerotic SAA- and AT-LDL Complexes in Smoking Patients (PJ-480). 第77回日本循環器学会学術集会. 2013年3月15-17日. 横浜

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者・タイトル
Endocrine Journal	Isojima T, Shimatsu A, Yokoya S, Chihara K, Tanaka T, Hizuka N, Teramoto A, Tatsumi K, Tachibana K, Katsumata N, Horikawa R. Standardized centile curves and reference intervals of serum insulin-like growth factor-I(IGF-I) levels in a normal Japanese population using the LMS method. Endocrine Journal 59(9): 771-780, Sept 30, 2012
臨床消化器内科	島津 章・藤・消化管神経内分泌腫瘍に対するソマトスタチンアナログ治療. 特集「消化管神経内分泌腫瘍」. 臨床消化器内科. 28(1): 107-112, 2013
Metabolism	Odori S, Hosoda K, Tomita T, Fujikura J, Kusakabe T, Kawaguchi Y, Doi R, Takaori K, Ebihara K, Sakai Y, Uemoto S, Nakao K. GPR119 expression in normal human tissues and islet cell tumors: evidence for its islet-gastrointestinal distribution, expression in pancreatic beta and alpha cells, and involvement in islet function. Metabolism. Vol 62(1):70-8. January 2013
OBSIDITY(Silver Spring)	Ida M, Hirata M, Odori S, Mori E, Kondo E, Fujikura J, Kusakabe T, Ebihara K, Hosoda K, Nakao K. Early changes of abdominal adiposity detected with weekly dual bioelectrical impedance analysis during calorie restriction. OBSIDITY (Silver Spring) in press,2013
Metabolism	Satoh-Asahara N, Sasaki Y, Wada H, Tochiya M, Iguchi A, Nakagawachi R, Odori S, Kono S, Hasegawa K, Shimatsu A. A dipeptidyl peptidase-4 inhibitor, sitagliptin, exerts anti-inflammatory effects in type 2 diabetic patients. Metabolism. 62(3):347-51.2013 Mar.
Current Therapy	小島真司・富田努・細田公則・藤倉純二・中尾一和. 特集 糖尿病の薬物療法—最新の治療と将来展望 治療薬解説 GPR119受容体作動薬. Current Therapy Vol.30 No.7 Page97-102 2012
Diabetes Care	Satoh-Asahara N, Shimatsu A, Sasaki Y, Nakaoka H, Himeno A, Tochiya M, Kono S, Takaya T, Ono K, Wada H, Sugaami T, Hasegawa K, Ogawa Y. Highly Purified Eicosapentaenoic Acid Increases Interleukin-10 Levels of Peripheral Blood Monocytes in Obese Patients with Dyslipidemia. Diabetes Care 35:2631-2639, 2012
Obesity Research & Clinical Practice	Shirai K, Saiki A, Oikawa S, Teramoto T, Yamada N, Ishibashi S, Tada N, Miyazaki S, Inoue I, Murano S, Sakane N, Satoh-Asahara N, Bujo H, Miyashita Y, Saito Y. The Effect of Partial Use of Formula Diet on Weight Reduction and Metabolic Variables in Obese Type 2 Diabetic Patients-Multicenter Trial-. Obesity Research & Clinical Practice in press, 2012
Clin Endocrinol (Oxf)	Usui T, Tochiya M, Sasaki Y, Muranaka K, Yamakage H, Himeno A, Shimatsu A, Inaguma A, Ueno T, Uchiyama S, Satoh-Asahara N. Effects of natural S-equol supplements on overweight or obesity and metabolic syndrome in the Japanese, based on sex and equal status. Clin Endocrinol (Oxf). 2012 Apr 3. [Epub ahead of print]
J Atheroscler Thromb	Wada H, Ura S, Satoh-Asahara N, Kitaoka S, Mashiba S, Akao M, Mitsuru Abe M, Ono K, Morimoto T, Fujita M, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K. α 1-Antitrypsin-low-density-lipoprotein Serves as a Marker of Smoking-specific Oxidative Stress. J Atheroscler Thromb 19:47-58, 2012.
Metabolism	Himeno A, Satoh-Asahara N, Usui T, Wada H, Tochiya M, Kono S, Yamada-Goto N, Katsuura G, Hasegawa K, Nakao K, Shimatsu A. Salivary cortisol levels are associated with outcomes of weight reduction therapy in obese Japanese patients. Metabolism 61:255-261, 2012.
Obesity Research & Clinical Practice	Shirai K, Saiki A, Oikawa S, Teramoto T, Yamada N, Ishibashi S, Tada N, Miyazaki S, Inoue I, Murano S, Sakane N, Satoh-Asahara N, Bujo H, Miyashita Y, Saito Y. The effects of partial use of formula diet on weight reduction and metabolic variables in obese type 2 diabetic patients—Multicenter trial. Obesity Research & Clinical Practice 7-1: e43-54, 2013.
Clin Chim Acta	Kotani K, Sakane N, Ueda M, Mashiba S, Hayase Y, Tsuzaki K, Yamada T, Remaley AT. Oxidized high-density lipoprotein is associated with increased plasma glucose in non-diabetic dyslipidemic subjects. Clin Chim Acta 414:125-9, 2012
BMC Public Health	Sakane N, Kotani K, Takahashi K, Sano Y, Tsuzaki K, Okazaki K, Sato J, Suzuki S, Morita S, Izumi K, Kato M, Ishizuka N, Noda M, Kuzuya H. Japan Diabetes Outcome Intervention Trial-1(J-DOIT1), a nationwide cluster randomized trial of type 2 diabetes prevention by telephone-delivered lifestyle support for high-risk subjects detected at health checkups: rationale, design, and recruitment. BMC Public Health 13:81, 2013
日本糖尿病情報学会誌	村田敬・岡田浩・岸純一郎・真鍋悟・片山蘭・山地聡子・坂根直樹・山田和範. インスリンポンプに関する医療従事者向け教育プログラムの開発. 日本糖尿病情報学会誌 Vol.10:28-32.
はじめてのカーボカウント第2版	坂根直樹 佐野喜子(編著). 中外医学社
この1冊でカーボカウント・インスリンポンプ・CGMがわかる!糖尿病3Cワークブック	村田 敬 中山書店
すぐわかる!すぐできる!糖尿病の食事療法カーボカウントナビ2.	佐野喜子(著者) 坂根直樹(監修):株式会社エクスナレッジ 2012年4月
カーボカウントに役立つ食品成分表ひと目でわかる!糖質.	佐野喜子(著者) 坂根直樹(監修):株式会社エクスナレッジ 2012年9月

日本糖尿病情報学会誌	タブレット端末を活用した糖尿病患者のための食物頻度調査法の開発と妥当性の検討. 日本糖尿病情報学会誌 Vol.1 未発行 2012.6.20付受理
糖尿病UP・DATE賢島セミナー28 糖尿病の診断と管理のイノベーション 早期診断と適切な管理フローチャート	河野茂夫. 末梢循環障害の予知・予防と対応.糖尿病UP・DATE賢島セミナー28 糖尿病の診断と管理のイノベーション 早期診断と適切な管理フローチャート vol.28 P200-211. 時事通信社. 2012年6月
日本臨床増刊号 最新臨床糖尿病学(下)	河野茂夫. 糖尿病足病変の疫学(IX 糖尿病合併症・糖尿病関連疾患 各種糖尿病合併症の概念・成因・診断・治療 糖尿病性足病変とフットケア). 日本臨床増刊号最新臨床糖尿病学(下) vol.70 増刊号5 P458-462. 日本臨床社. 2012年7月
糖尿病ケア2012年秋季増刊 患者さんのいま・これからがわかる チャートで学ぶ糖尿病と合併症	河野茂夫. 糖尿病足病変. 糖尿病ケア2012年秋季増刊 患者さんのいま・これからがわかる チャートで学ぶ糖尿病と合併症 No.112 P128-136. メディカ出版. 2012年9月
糖尿病の療養指導2012 療養指導士を育てるために	河野茂夫. その他の糖尿病合併症. 内分泌代謝専門医ガイドブック 改訂第3版 P375-377. 診断と治療社. 2012年11月
糖尿病最新の治療 2013-2015	河野茂夫. 足潰瘍・足壊疽. 糖尿病最新の治療 2013-2015 P255-259. 南江堂. 2013年1月
最新 内分泌代謝学	河野茂夫. 糖尿病の慢性合併症. 最新 内分泌代謝学 P531-534. 診断と治療社. 2013年3月
最新 内分泌代謝学	河野茂夫. 糖尿病足病変. 最新 内分泌代謝学 P538-540. 診断と治療社. 2013年3月
J Atheroscler Thromb	Takanabe-Mori R, Ono K, Wada H, Takaya T, Ura S, Yamakage H, Satoh-Asahara N, Shimatsu A, Takahashi Y, Fujita M, Fujita Y, Sawamura T, Hasegawa K. Lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1 plays an important role in vascular inflammation of current smokers. J Atheroscler Thromb, in press, 2013
Diabetes Care	Response to Comment on: Satoh-Asahara et al. Highly Purified Eicosapentaenoic Acid Increases Interleukin-10 Levels of Peripheral Blood Monocytes in Obese Patients with Dyslipidemia 2012;35:2631-2639. Diabetes Care, in press, 2013
最新 内分泌代謝学	浅原哲子. 肥満・やせのフローチャート. 最新 内分泌代謝学 P882-883. 診断と治療社. 2013年3月
最新 内分泌代謝学	浅原哲子. 過食と食欲不振のフローチャート. 最新 内分泌代謝学 P890-891. 診断と治療社. 2013年3月
糖尿病学の進歩2012 第46集 日本糖尿病学会編	浅原(佐藤) 哲子. 「血管機能と糖尿病(1)-PWVとCAVI」. 糖尿病学の進歩2012 第46集 日本糖尿病学会編 P266-272. 診断と治療社. 2012年9月
肥満研究	浅原哲子. 総説企画テーマ チームで取り組む肥満症治療「チームで取り組む肥満症の外来治療」. 肥満研究 vol.18 No.2 (通巻53号) P85-91. 肥満研究. 2012年8月
最新医学	浅原哲子. 2011年度井村臨床研究奨励賞記念論文「日本人肥満症における心腎合併症予防のためのアディポサイトカインの臨床的意義と減量治療効果に関する多施設共同研究」. p.1323-1330. 最新医学 6月号. 2012年6月.